

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	障害の理解Ⅱ		合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。</li> <li>・障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul>			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的側面からみた障害の理解</li> <li>・障害児者への支援の実際</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
医学的側面からみた 障害の理解	12	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視覚障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①視覚機能</li> <li>②視覚障害を引き起こす主な眼疾患</li> </ol> </li> <li>2. 聴覚・言語障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①聴覚障害</li> <li>②言語障害</li> </ol> </li> <li>3. 運動機能障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①肢体不自由</li> <li>②上肢、下肢の機能障害</li> <li>③脳性麻痺による麻痺</li> <li>④体幹機能の障害</li> </ol> </li> <li>4. 心臓機能障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①心臓機能障害の医学的理解</li> </ol> </li> <li>5. 腎臓機能障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①腎臓機能障害の医学的理解</li> <li>②腎臓機能障害の治療</li> </ol> </li> <li>6. 呼吸機能障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①呼吸機能障害の医学的理解</li> <li>②在宅における呼吸機能障害の治療</li> </ol> </li> <li>7. 膀胱・直腸機能障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>①膀胱・直腸機能障害の医学的理解</li> </ol> </li> </ol>		

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	障害の理解Ⅱ		合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。</li> <li>・障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul>			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的側面からみた障害の理解</li> <li>・障害児者への支援の実際</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
医学的側面からみた 障害の理解	12	<p>8. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 ①ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の医学的理解</p> <p>9. 肝臓機能障害 ①肝臓機能</p> <p>10. 知的障害 ①知的障害の心理学的概念 ②知的障害の原因</p> <p>11. 精神障害 ①精神障害者の法的定義 ②精神障害(疾患)の理解</p> <p>12. 発達障害 ①発達障害・発達障害者の法的定義 ②発達障害の理解</p> <p>13. 難病 ①難病の定義 ②疾患の特徴</p>		

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	障害の理解Ⅱ	合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。</li> <li>・障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的側面からみた障害の理解</li> <li>・障害児者への支援の実際</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
障害児・者への支援の 実際	12	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的視点の基づいた個別支援 <ol style="list-style-type: none"> <li>①生活ニーズの把握</li> <li>②医学モデルと社会モデル(生活モデル)</li> </ol> </li> <li>2. 家族の状態の把握と介護負担の軽減 <ol style="list-style-type: none"> <li>①本人・家族への生涯にわたる支援</li> <li>②家族支援の視点</li> <li>③年齢・発達段階に応じた家族支援</li> </ol> </li> <li>3. 地域におけるサポート体制 <ol style="list-style-type: none"> <li>①行政、関係機関との連携</li> <li>②地域における「協議会」との連携</li> <li>③インフォーマル支援ネットワーク</li> </ol> </li> </ol>	
【使用テキスト】 中央法規出版「介護職員等 実務者研修テキスト 第4巻		【評価方法】 科目別小テストに対し、A=90点以上、B=80点以上C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。	